



# 公益財団法人 浦上食品・食文化振興財団 URAKAMI FOUNDATION

財団  
ニュース  
2022

2022年1月発行

## CONTENTS



- 理事長挨拶
- 学術研究助成事業
- 近年助成した研究からご紹介



- 食文化の振興・啓発活動
- 令和3年度東日本大震災復興支援事業
- 活動紹介 NPO法人 吉里吉里国
- 浦上ランチプロジェクト(ラオスにおける学校給食プロジェクト)
- こども食堂支援助成事業
- 読売写真ニュースを学校に寄贈/フードピア金沢を支援



- 広報活動
- 研究報告書の発行
- 財団ニュースの発行
- 編集後記

## 理事長挨拶

令和4年の新春を迎えました

昨年からオミクロン株などの新型コロナウイルスが世界各地で猛威をふるっています。昨年総理になられた岸田首相も就任早々コロナ対策に追われるなど、国内でも多くの経済活動や日常生活に支障が生じています。楽しみにしていた東京五輪は昨年、無観客ながら成功裏に開催されましたが、デルタ株による第5波が東京をはじめ全国に広まり、医療体制も崩壊の瀬戸際まで行きました。今年2月に開催される予定の北京冬季オリンピックはどのようになるのかなぁと思っています。

こうした厳しい状況の下ではありますが、浦上財団はハウス食品グループ本社株式会社の感染症対策を徹底した堅実な企業経営に伴う安定した配当金のおかげで本年度も学術研究助成事業をはじめ、東日本大震災復興支援事業、そしてラオスにおける浦上ランチプロジェクトを従来どおり実施することができました。また、新たにこども食堂支援事業も新規事業として開始することができました。

令和3年度の学術研究助成事業は20件で助成金額は63,722千円となり、助成総額も累積で438件、1,135,571千円になりました。コロナ禍での贈呈式はモニター画面を通してのZoom会議で行われ、古いタイプの私としてはいまひとつ物足りない思いがしました。一日も早く感染を心配しないでお互いの意見交換が出来る、

そんな贈呈式になってほしいと切望しています。私は浦上財団の助成金贈呈式で、第1回目から研究者の皆様には研究内容を簡単によくわかる様に説明してくださいとお願いしています。そのご説明を聞いて立食パーティーの時に皆さまとお話するのは年に1度の私の楽しみです。ここ2年間はコロナの影響の下、研究者の皆様と直接お会いすることはできませんでしたが、このもどかしさから、早く解放されることを願っています。

本年1月17日に行う予定にしていた東日本大震災復興支援事業の贈呈式も年明けからのオミクロン株感染急拡大の影響を受け、昨

年に引き続き、また研究助成に続いてのZoom会議での贈呈式になってしまいました。年末までは仙台で集まっての贈呈式を計画しておりましたのでひとしお残念に感じます。

人は生きていくと様々なことを経験し、その経験を通して多くの人との出会いがあり、そして勉強します。そういう経験の積み重ねで人は味のある人になるのだと思います。今年80歳になる私ですが、これからももっともっとなんな人との出会い、いろんな経験を積み、豊かな人生にしたいと思います。

日頃より当財団にご支援をいただいている皆様にご心より御礼申し上げますとともに、今後ともよろしくお願い申し上げます。



評議員会で挨拶する浦上節子理事長











食文化の振興・啓発活動

読売写真ニュースを学校に寄贈

浦上財団のロゴともなっている『「食」は「人」に「良」いこと元気のもと』をパネルに用い、「食育活動」に熱心に取り組んでいる全国48ヶ所の小学校、中学校、高校、図書館に教材資料として毎週写真ニュースを提供しています。提供先の小学校等の児童生徒たちからの関心も高く、写真ニュースは学校教育にも有効であるとのことから、引き続き提供したいとの要望が寄せられています。



小学校等に寄贈しているパネルの一例

寄贈校からの声

- 児童は、週毎に張替えられる記事を熱心に読み、日本や世界で起きている出来事に鋭く目を向けています。
- 「この掲示板を見ると、色々なことを知れていい」と言う子供たちの声も多く聞いている。
- 社会の出来事を見つめる一貫した視点をもって豊かなメッセージを子供達に発信してくれる貴重な教材です。
- 大きなインパクトのある写真がメインで、文章も短く分かりやすいので、児童の学習にとっても役立っています。
- 児童が休み時間に写真ニュースを見に来ています。大変好評です。
- 貼り変わった記事を見る度、子ども達が集まる交流の場となっている。

フードピア金沢を支援

独自の食文化と石川県の冬の日本海の海の幸・加賀野菜を紹介する食のイベント「フードピア金沢」は毎年2月に金沢市及びその周辺地域で開催され、当財団は第1回(1985年)より継続的に支援しています。

第36回目となった昨年は、コロナ禍の関係で例年行われている金沢老舗百年會会員のお店で食事と講師による金沢文化の話を堪能する「金澤老舗よもやま話」等は中止となりましたが、デパートや金沢の有名なホテルを会場とした冬の金沢の味を楽しめるイベントは1月30日から2月28日まで開催され、各地より多くの参加者で盛り上がりました。今年はコロナの感染状況次第ではありますが、金澤老舗よもやま話や金澤町家「食」めぐり等実施されると聞いております。

フードピア金沢も30年をこえる歴史の中で時代流れに合わせ様々な変遷を遂げていますが、食をはじめ、金澤芸妓、老舗、金澤町家といった金沢ならではの地域資源、文化を活用した催しを実施しながら金沢の冬を代表するイベントとして定着しています。



広報活動

研究報告書の発行

助成した研究のうち一昨年秋までに報告をいただいた研究結果をはじめ論文発表が終わり公表可能となった研究結果11件を浦上財団研究報告書Vol.28としてとりまとめ、昨年3月に発行し、全国の研究機関附属図書館や都道府県立図書館にお送りしました。

また、昨年秋までに当財団に提出された研究報告を収めた研究報告書はVol.29として今年3月に発行する予定です。



財団HPのリニューアル、財団ニュースの発行・財団ニュースの発行

研究助成事業や復興支援事業の告知、申請や結果発表をはじめ、当財団の活動をHPにてお知らせをしています。また、研究助成事業と震災復興支援の申請をオンライン申請にし、日頃の助成対象者との連絡の利便性を高めるため、各助成者とはマイページでのやり取りを行っています。

ほかにも財団の事業活動や寄付金の募集活動などを紹介するため写真も多く掲載した財団ニュースを毎年1月に発行しております。



● 編集後記

昨年度もコロナ禍の中、当財団も様々な行事に支障が生じた年でした。理事会、評議員会もZoomでの参加を併用したハイブリット方式、学術研究助成については、選考委員会、贈呈式をZoom会議での開催となるなど、様々な制約があり、理事の皆様、監事の皆様、評議員の皆様、選考委員の皆様のご支援ご協力によりまして、つつがなく事業の実施を行ってまいりました。あらためまして皆さまに感謝を申し上げますとともにお礼を申し上げます。

このコロナ禍の中、財団も政府の方針や事務所を間借りしているハウス

食品グループ本社(株)のコロナウイルス対応をふまえ、時短勤務や在宅勤務を交えつつ、なんとか元気に職務を全うしています。これもひとえに連絡・報告・相談の、ほうれんそうを徹底しお互いの仕事分野を超えた連携の賜物だと思っております。

本年も浦上理事長はじめ役員の皆様のご指導をしっかりと受け止め、謙虚な姿勢で誠実に財団運営に頑張っていく所存です。

(大豆生田 清志、浦上 佳江、戸田 俊一)



〈お問い合わせは下記まで〉

公益財団法人 浦上食品・食文化振興財団

〒102-8560 東京都千代田区紀尾井町6番3号 ハウス食品グループ本社ビル

電話：050-3532-6365 FAX：03-3264-6188

URL: <http://www.urakamizaidan.or.jp> (お問い合わせはHPのお問い合わせフォームをご利用ください)